

天台佛青連



発行元 / 天台仏教青年連盟
 編集 / 布教広報委員会
 発行所 / 〒309-1451 茨城県桜川市西小嶋 1677 月山寺内
 印刷所 / 〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社
 郵便振替 / 天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字 / 第256世天台座主
 半田 孝淳 猊下

平成25年
 2月28日
 発行

index

代表挨拶 1
 天台宗宗務総長 御挨拶 2
 延暦寺執行 御挨拶 2
 復興支援合同ボランティア活動 3



東日本大震災復興支援
 特別委員会活動報告 3
 陸奥結集報告 4
 第11回沖繩戦跡慰霊行脚報告 5
 韓国燃燈大会大燈籠提燈行列並びに
 救仁寺表敬訪問報告 5
 平成24年度天台仏教青年中央研修会報告 6
 仏法興隆花まつり千僧法要 7

特集

祖師先徳鑽仰大法会
 慈覚大師御影供法要 8~9



第34回東日本仏青親睦陸野球群馬大会 10
 第47回天台青少年比叡山の集い 11
 インフォメーション 12
 協賛金協力者ご芳名 13~15
 平成24年度常任委員会委員長報告 16

やればできる



天台仏教青年連盟代表

高倉 聖法

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。日頃より一宗を始め延暦寺一山、全国の天台宗寺院、各区仏青会員の皆様には格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。特に一昨年より引き続き、東日本大震災復興支援ボランティア活動に対する一宗のご支援により、継続的な活動が出来ます事に重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年四月一日に祖師先徳鑽仰大法会が開闢され、第一期慈覚大師鑽仰の期間にあたり、中山玄晋大僧正ご指導のもと修禮を行い、九月七日に立石寺様に於いて、天台仏青連盟慈覚大師一一五〇年御遠忌記念慈覚大師御影供を奉修致しました。当日は村上社会部長、小寺副執行、清原立石寺山主、工藤宗議会議員のご臨席を仰ぎ、多くの地元関係者のご協力で一五〇余名の仏青会員と共に厳粛な法要を勤める事が出来ました。立石寺様始め携わった全ての皆様に深甚より御礼申し上げます。

お迎えし、東北にゆかりの深い慈覚大師様についてご講演を頂きました。開催に際しましては被災教区であるにも拘らずご尽力頂いた陸奥教区仏青会員、開催の趣旨にご賛同頂きました陸奥教区諸大徳様に深謝申し上げます。

また、十月十七日・十八日には延べ八十二名の会員参加のもと、福島市、南相馬市に於いて合同ボランティア活動を行いました。特に福島市内での除染作業では通学路の放射能数値の高さに驚き、見通しのつかない復興への苛立ちや不安な気持ちを感じました。

一宗主催で行われた十一月の天台仏教青年中央研修会では、米澤智秀全日仏青救援委員長にボランティア活動についてご講演頂き、僧侶だから出来る気配りや慈悲心を持った丁寧な活動が大切であるとお話を頂き、今後の活動に活かしていかなければと強く感じました。また今年は、一宗内局の方々との意見交換の場が設けられ、得難い貴重な時間となりました。

振り返りますと、当初無理であろうと思われた慈覚大師御影供、陸奥結集、合同ボランティアが、一人一人の自覚と努力、そして皆の協力により成功を収めました。そこに至るには困難を伴いましたが、「やればできる」という気持ちで取り組み、苦難を乗り越えて必ず達成出来るのだと改めて実感致しました。今後も行動する前に諦めてしまう事が無いよう、何事にも常に前向きに取り組んで参りたいものです。

全国の会員の皆様、ご尽力誠に有難うございました。



青年僧に期待するもの

天台宗務総長

阿 純孝

このようなこと、御存じでしょうか。
最近の若い女性は、青年僧に好意を持っているそうです。なぜなのか、その理由を二、三挙げることはできますが、省略しておきます。

とにかく青年僧に関心があるのだそうです。関心を持たれることは励みになりますから、わるいことではありません。目的に向ってひたすら歩む清々しさは、だれが見ても美しく頼もしいものです。青年僧はそうあるべきですし、そうあってほしいと願っています。そのようなイメージを託すことができる存在が青年僧です。ですから、若い女性もその点に好感を持ったのでしょうか。

私たち僧侶は、老いも若きも求道の精神を忘れてはならないと思います。

平成二十五年には慈覚大師一一五〇年遠忌を迎えますが、慈



御挨拶

延暦寺執行

武 覚超

天台仏教青年連盟の皆様におかれましては、日ごろ仏書活動や教区の諸行事、また天台一宗や総本山比叡山延暦寺のために、何かとご尽力頂いておりまこと、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

また昨年九月には、慈覚大師一一五〇年御遠忌の記念行事として、仙台市での平成二十四年度全国大会陸奥結集を実施し、山形教区立石寺において慈覚大師御影供を厳修されましたこと、心より敬意を表します。

今回の第一期慈覚大師御遠忌は、平成二十七年三月までの期間ですが、これを機会に仏教青年の皆様におかれましては、慈覚大師ゆかりの法華経写経の実践やその推進についても貢献してくださることを期待いたしております。

また慈覚大師の遺蹟や聖蹟は、比叡山を中心に日本の全国

や中国にも及んでおります。若い皆様には、その足跡を訪ねての巡礼や参拝等を通して、慈覚大師の鑽仰に勤めて頂くことも大切なことでもあります。

特に慈覚大師が著わされた『入唐求法巡礼行記』は、伝教大師の遺命を受けて天台仏教確立のための求法に命をかけた約十年に亘る旅行記であり、比叡山の仏教を語るには欠かすことのできない書物であります。この折に一読し、その歴史的経緯や帰国後の業績等についても考えて頂きたいと思っております。

仏書の皆様には、この祖師先徳鑽仰大法会の十年間にも及ぶ誠を得難い素晴らしい機縁を生かして、さらなる修学・研鑽に精進され、天台宗ひいては仏教界の活性化と発展のために、ご活躍くださることを祈念申し上げます。

東日本大震災

復興支援合同ボランティア活動

東日本大震災復興支援特別委員会委員長代行

寺門 俊明



業ボランティアに参加。常圓寺では、参加希望者があれば毎日受け入れ、地元の支援者と一緒に除染作業を行っています。また、作業で除去した土はドラム缶に密閉して檀信徒の了解のもと、寺有地に一時的に保管をしておきました。

阿部住職による福島市内の除染の現状と作業説明を受けた後、作業を着用し線量計を持って市内住宅地の歩道や側溝の除染作業を行いました。線量計のア

昨年十月十七日、十八日の日程で、仏書連盟主催による「東日本大震災復興支援合同ボランティア」を福島県内において行いました。
今回の合同ボランティアでは、昨年度の宮城県山元町での津波による被災家屋の瓦礫撤去作業に続く第二弾として、福島市内での放射性物質の除染作業と南相馬市での傾聴支援活動を企画しました。



ラムは、作業の基準となる三マイクロシーベルトに設定し、沿道の土を測定して除去しました。現在も普通に生活をしている住宅地であるにもかかわらず、作業開始直後からピーピーとアラーム音が各所で鳴り、作業地区での放射線量は我々の想像をはるかに超えるものでした。

第二日目は、南相馬市内の市民情報交流センターに場所を変え、自主サロンを開設しました。

仮設住宅や市内に避難している人々に少しでもくつろいでもらいたいとの思いで、落語家春風亭愛橋師による落語、ミュージシャンによる詩の朗読、そして群馬仏青を中心とするメンバーによる雅楽演奏を行いました。

また、全国の仏書会員より寄せられた各地の特産品を来場者全員に配布しました。来場者は予想より少なめではありましたが、各地から寄せられた品



東日本大震災復興支援特別委員会活動報告

【飲料水支援 30万円分】 福島県保育協議会…エムポリウム並木保育園/緑ヶ丘保育園/ひまわり保育園/あさひがおか保育園/梅の木保育園/スギナ保育園/希望ヶ丘保育所/うねめ保育所

【第2回合同ボランティア】 平成24年10月17日 福島県福島市堀川町内除染活動
平成24年10月18日 福島県南相馬市市民情報交流センター「春風亭愛橋氏落語・雅楽公演」

【第3回合同ボランティア】 平成25年3月13日 福島県須賀川市特別養護老人ホーム清掃活動
平成25年3月14日 福島県南相馬市小池地区 西部地区コミュニティーセンター「露の団姫氏落語・豊来家大治朗氏曲芸公演」

速藤新兵衛商店
〒600-8334
京都市下京区油小路通六条南入
電話 (075) 351-1367
FAX (075) 351-1476

法衣・稚児貸衣装・仏具荘製品
贈答記念品・授与品

株式会社鈴木法衣店

東京店
〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目8番8号
TEL 0120(55)0369
FAX 0120(44)7560

埼玉営業所
〒345-0047 北葛飾郡杉戸町高野台1丁目15-7
TEL 0120(66)0369
FAX 0120(66)5966
ホームページ
<http://www.suzukihouten.jp>

仏像の彫刻と修復
無料お見積り致します

みやこ仏像

埼玉県新座市野火止6-8-3-417
TEL048-481-7133



平成二十四年五月九日、沖縄戦争殉難者慰霊行脚に、慰霊行脚委員会委員長秋吉文隆師、天台宗参務社会部長村上圓竜師、比叡山回峰行者大行満光永覚道師、同じく大行満藤波源信師、延暦寺一山本覚院磯村良定師、同じく覚任坊上野良剛師、有志四十数名と共に天台仏教青年連盟から高倉聖法代表、鈴木大和事務局長が参加した。

首里城での読経・散華等から始まった慰霊行脚の一行は、その後平和記念公園より糸数壕（アブチラガマ）に向かった。

首里城を出発点として年々行脚の経路を変えて供養を行って国内で最大規模の陸戦となった沖縄では、民間人・行方不明者を合わせる二十万人近い方が犠牲になられている。その方々の慰霊塔がある場所だけでなく様々な場所でも亡くなられており、行脚によって触れて縁を結び慰霊することが大切なのだと教えられた。沖縄念法寺様には道中より最後まで色々とお世話頂き、歩きやすい天気の中で行脚を行うことが出来た。

また、前日八日の夕刻には、第一回よりずっと参加してこられた延暦寺一山真乗院誓田玄光師を供養する法要が念法寺で執り行われた。



第十回沖縄戦跡慰霊行脚報告

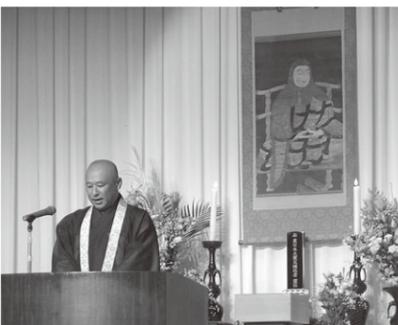
天台仏教青年連盟事務局長

鈴木大和

陸奥結集報告

天台仏教青年連盟全国大会

陸奥仏青 菅野 宏紹



平成二十四年九月六日、仙台市「江陽グランドホテル」において、平成二十四年度天台仏教青年連盟全国大会陸奥結集が開催されました。全国各教区仏青より二百三十名のご参加を得て皆様のお力添えの下、魔事なく円成することが出来ました。茲に厚く御礼申し上げます。

陸奥仏青では、四年前に開催地に立候補してから企画立案作成に取り掛かっておりましたが、東日本大震災が平成二十三年三月に発生し、この爪痕が残る被災地での開催に関しては、陸奥仏青内で開催すべきか否か相当議論を重ねました。この間、全国の連盟会員諸兄より「どんなに小さい規模でもよいから陸奥での結集を実現してほしい」と温かい励ましを頂きまして、今回が初の「二日開催」となりました。

午後一時受付開始。今回は法要を厳修する関係上受付終了



後、参加者全員が道服に着替えることとしました。午後二時からの開会行事に続き、応当表で出仕の各教区仏青代表出席者二十六名による東日本大震災物故者慰霊・早期復興祈願法要が高倉連盟代表・導師のもと常行三昧で荘厳裡に厳修されました。その後、この結集記念事業として全国各仏青に依頼して書写された『妙法蓮華経』を被災地宗門寺院を代表して気仙沼観音寺様に贈呈しました。その後、記念講演として「慈覚大

師を想う」と題し、大師研究の第一人者である齊藤圓真天台宗参務学部長による講演を拝聴。時恰も慈覚大師一一五〇年御遠忌開闢の年にあたり、慈覚大師巡錫の伝承が数多く残る東北での開催ということもあり、熱のこもったご講演、聞く側も改めて大師の残された業績を確認することのできた有意義な時間でした。ちなみに「東北」を感じてもら



講演後は懇親会に移り東北を代表する芸能である津軽三味線の渋谷幸平氏の演奏など生の三味線演奏を前に和やかな時を過ごしました。

被災地でもあり、会員数も少なく、また三県に跨る陸奥仏青での結集にご参加いただいた会員さん方にはご不便をおかけしたと存じます。この場をお借りしてお詫び申し上げますと共に、ご協力いただきました諸兄に厚く御礼申し上げます。

韓国燃燈会大燈籠提燈行列並びに救仁寺表敬訪問報告

天台仏教青年連盟事務局長

鈴木大和



陰曆四月八日のお釈迦様の誕生を奉祝する佛誕祭が国民的大イベントとして開催される中、大韓佛教天台宗の招請を受け、五月十九日より二十一日までの日程で天台仏教青年連盟より高倉聖法代表、鈴木大和事務局長、秦順恵九州東仏青前会長が訪韓した。

東国大学（ソウル市筆洞）の大運動場を会場に佛誕祭奉祝式が開催され、三万人の仏教徒が集会した。日本からは我々三名の他に、西郊良光日韓仏教文化

交流協議会理事長、茂松性典鳴瀧寺住職が参席された。約三キロの道程を三時間かけ、青森ねぶた祭りを思わせる大燈籠車の前後に燈籠提燈を手に隊列を組んだ宗教団体の僧侶と信者ら六万人が参加する大規模な大燈籠提燈行列が行われた。

救仁寺での茶話会において、大燈籠提燈行列は、現在では奉祝の仏教徒や観光客らによって盛大なお祭りとなっているが、今から約三十年前に三十名程で救仁寺から近くの村まで歩いた

のが始まりであると教えていただいた。

これからも「天台の絆」を固く結び天台佛門の結束をはかりたいという阿純孝宗務総長の思いを受け止め、天台仏教青年連盟としてもその一翼を担うことができるのであれば、今後も日韓天台宗の相互親善交流に参加していきたい。

光工房

各種仏具販売・修復・セラミック

(お気軽にご相談ください)

〒370-0850 群馬県高崎市上中居町370-5

TEL&FAX 027-388-1098

天台宗の共済

かけがえのない寺院建物
収容動産を火災や水災等の
様々な災害からお護りする

天台宗災害補償制度

平成二十四年度 天台仏教青年中央研修会報告

天台宗務庁 社会課長 高見昌良



また、今後発生するであろう大規模災害に備え、その災害対策に迅速かつ有効に取り組むために、組織体系、役割分担等を天台宗として確立して行くことが喫緊の課題でありました。

昨年の東日本大震災発生以降、被災地、被災者の為に天台宗並びに天台佛青が取り組んできた諸活動を振り返ると共に、中央研修会の時期以降に本場において必要とされる活動は何であるのかを認識し、その活動を実行していく為の一助となる研修にできればとの思いのもと、今回の日程での中央研修会を実施させていただきました。

その中で、天台宗と天台佛青との連携をどのようなものとしていく事が最良の形であるか明確にする為、天台仏教青年連盟と天台宗を繋ぐ社会部としては、いつか天台宗内局と天台佛青が直接意見交換する事ができないかとの思いがありました。その為にこの中央研修会の日程



に内局との討議の場を設けました。この場が適当であったか否かは賛否が分かれるところだと思いますが、今回の中央研修会を一つの機会に、様々な場での天台宗と天台佛青の連携をより強いものとしていけるよう社会部として今後も鋭意検討していきたいと考えております。

「僧侶(寺院)の可能性」

東海仏青 宇都宮典孝

平成二十四年度天台仏教青年中央研修会が、平成二十四年十一月二十八日、二十九日の二日間に渡り、全国から約五十名の青年僧の参加のもと、延暦寺会館を会場に開催されました。今年度の研修は先ず天台宗災害対策本部の方より「東日本大震災・天台宗災害対策本部報告書」をもとに説明がありました。続いて曹洞宗全日本仏教青年会救護委員長、米澤智秀氏を講師にお招きして「僧侶(寺院)の可能性」について講演を受け、心身のケアについて講演を受け、ボランティア活動を含め、心身のケアについての講演がありました。今回の講演を受け、僧侶として、まだまだ未熟だと痛感しました。今後は、積極的に社会と関わりながら様々な活動をしていきたいと思っております。

天台宗専門法衣店 山科大西法衣店

〒607-8357 京都市山科区西野樋川545-21

電話 (075) 591-9159
FAX (075) 502-5418
0120-568-024



空風火水地

品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。

営業品目 卒塔婆 角塔婆 経木塔婆 ゴマ札 各種特許あり

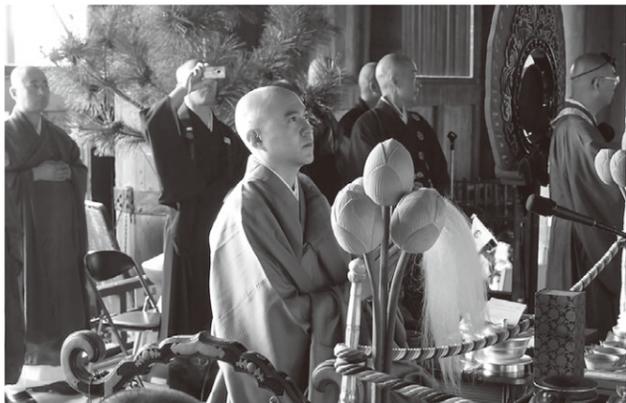
塔婆製造販売 (株)協和木工所

東京都西多摩郡日の出町平井1316
TEL. 0425-97-0732
FAX. 0425-97-1816



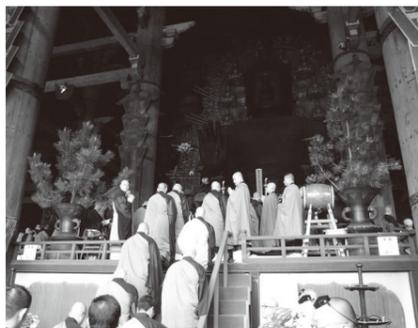
仏法興隆花まつり千僧法要

全日本仏教青年会理事長 村山 博雅
平成二十四年四月二十六日(休) 奈良東大寺大仏殿にて



大仏殿へと続く参道に響きわたった。法要は大仏殿連台上で行われ、先ず天台仏教青年連盟による声明散華が唱えられ、参加者一同は声明に合わせて散華を行った。次に村山博雅全日仏青理事長導師が復興祈願文を奉読し、全員が一心に一日でも早い復興を祈った。続いて融通念佛宗青年会による声明・念仏、全国日蓮宗青年会による木剣修法、大般若経六百巻の転読が行われた。その後、参加者一同はアショカピラー宝塔

で、それ以後、毎年四月二十六日に仏法興隆花まつり千僧法要が執り行われている。



千僧法要を経て

兵庫仏青 山石 亮秀

東大寺が創建されて二二六七年の時が経ち現在の仏教者でその地に足を運んだことのない人はいないのではないのでしょうか。もちろん、私もその一人です。大仏殿の壮大さに目を奪われたことを今でも忘れることができません。その大仏殿で毎年、四月

平を覚えてくれるそのような場所、機会ではないのでしょうか。後になりましたが、行事に携わるすべての関係各位に心より御礼を申し上げます。千僧法要が今後も続き、長く仏国土が安穩であることを祈りながら失礼致します。



平成二十四年四月二十六日、奈良東大寺大仏殿盧遮那仏御宝前に於いて、仏法興隆花まつり千僧法要が「東日本大震災及び各地災害復興祈願」、そして災害被害により犠牲となった方々への慰霊法要として行われた。行列は午後一時頃に出発し、金峯山青年僧の会による法螺、全国日蓮宗青年会の団扇太鼓が

へ移動し、岡崎良昭南都二六代会長導師による法要が執り行われた。この宝塔は、昭和六十三年に全日仏青が仏法興隆の願いをもつて花まつり千僧法要が行われ、苦悩する人々の心の救済と人類の福祉・世界の平和に寄与することを誓願し、その精神を永く継承し青年僧の思いを後世に伝えることを形にしたもの

二十六日に各宗派の僧が集い法要を営んでいきます。全日本仏教青年会加盟団体を中心に華厳宗、南都二六会などが協力し千人の僧を集め同時に祈りを捧げます。この行いは世界平和はもちろん、自然災害などで命を落とした方々の供養、仏教伝来に力を注いだ方の御供など様々な想いを届けていきます。通常では考えられない長い僧列、厳かな読経、あてやかな衣とまさに天平の時代を彷彿させるかの如くに感じます。ご覧になった一般の参拝者もその荘厳さに目を奪われていたのではないのでしょうか。私自身、僧列に入り大仏殿へと歩み続けるにつれ、心につつと感じる歴史の重み、と今の瞬間にこの地に存在していることのありがたさ。様々な想いが心、体をゆさぶります。これこそが盧遮那仏の御威光と感じざるを得ません。千の僧侶が一度に集うこの場所は未来永劫に仏国土の安穩を祈願し、われわれ仏教者並びに仏教徒すべての人々に幸福と和



慈覚大師御影供法要



平成二十四年九月七日

祖師先徳鑽仰大法会 慈覚大師御影供法要

平成24年5月31日
慈覚大師御影供習礼
 場所：別当大師堂
 講師：延暦寺学問所 能化 中山玄晋大僧正

天台仏教青年連盟
高倉聖法代表

—千百五十年御遠忌を迎え 慈覚大師を思う—



天台宗参務
村上圓竜社会部長
山形教区
清原正田宗務所長



立石寺本坊
～立石寺根本中堂 行道



我々リーダーは、一年前から会議を繰り返して、

の大切さを学ぶことで研修期間が充実したものに思っています。

ことができたように心がけました。また、研修生はサブテーマである「規律と合掌」という基本に立ち返ってもらい、感謝や平和の大切さを学ぶことで研修期間が充実したものに思っています。

返し、研修生が期間中安全に過ごし、感動を覚えて帰ってもらえるよう企画しています。そして様々な行事を経験し、最後の修了式ではリーダーも研修生も涙を浮かべ、別れを惜しむのです。それは二泊三日の研修の内容が非常に濃く、そのおかげでお互いが成長できたからだと思います。

本年度より、比叡山の集いは連盟の事業から離れ、天台宗と比叡山の直轄の行事となりました。これはあくまでも組織上の問題でありまして、今まで通り仏青連盟と全国の仏教青年会のご協力がなければ成り立ちません。最近の傾向として、リーダーも研修生も東の教区



からの参加者が多く、西からの参加者が減少しています。ぜひ一度、どのような形でも構いませんので、比叡山の集いに参加していただき、この素晴らしい体験を共有していただきたいと思えます。

総本山延暦寺 御用達

中末法衣店

〒606-8287
京都市左京区北白川上池田町12-1
TEL 075-723-8865
FAX 075-723-8867

井筒法衣店

代表取締役社長 幾田 潤

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
電話 075-365-0001(代) FAX 075-353-7021
東京店/東京都新宿区三栄町11-6
電話 03-3358-1500(代表)

御本山御用達 京表具

法悦庵

古文化財保存修理研究所 矢口浩悦庵
本社・工房
京都市上京区衣棚通り丸太町上る東側
TEL(075)254-6021 FAX 254-6022
http://www.koetsuan.com

第四十七回 天台青少年比叡山の集い

実行委員長 寺本 亮晋

天台青少年比叡山の集いは、天台宗と比叡山の共催の下、全国の小学六年生から中学三年生までを対象として毎年八月初旬に行われる研修です。研修生は比叡山という環境の中、三つの誓い（伝教大師が目指した国家的人材となるための三つの実践項目）・平和の合い言葉（世界の平和を目指す三つの目標）

発心会・三塔巡拝・営火という五つの柱を中心に実践しています。指導を担当するのは、実行委員を始め、全国の仏教青年会の会員を中心とした約七十名の若いリーダー達です。

本年度の集いは、被災された教区からの参加者が昨年より増え、過去最大規模の約二三〇名の参加となりました。人数が増えたからといって指導が疎かにならぬよう、リーダー同士で綿密に話し合い、研修生に対して模範を示すことができるよう心がけました。また、研修生はサブテーマである「規律と合掌」という基本に立ち返ってもらい、感謝や平和の大切さを学ぶことで研修期間が充実したものに思っています。

第三十四回 東日本仏青親睦野球群馬大会

群馬仏青 滝川厚賀



昨年五月二十四日、群馬県前橋市にて第三十四回東日本仏青親睦野球群馬大会が開催されました。前回大会は東日本大震災の影響により自粛となり二年ぶりの大会となりました。遠路より来県して下さいました皆様の御参加と御協力に改めて感謝申し上げます。

さて今回の群馬大会は、初日に親睦野球とミニ運動会、昼食には地元元のB級グルメを招致する内容でした。当日は天候にも恵まれ、十七教区二百三名の参加で大きな怪我人もなく終了することができました。ただ結果としてホスト教区である群馬が優勝するという、情け容赦な

い群馬らしさの大会となった気がします。その後の伊香保温泉での懇親会でも様々な情報交換ができ、懇親も深められました。

また今大会に際しては、群馬教区内御寺院協賛の被災地復興支援企画（被災地の家屋柱を使用して腕輪念珠を作成配布し支援金を募る）を盛り込み、参加者全員の御協力を頂きましたこと、誠に有り難うございました。一刻も早い被災地復興を願うと共に、今後この大会が続いていくこと、十数年後に再び群馬の地で開催できることを祈念申し上げ、報告と致します。

東日本仏青親睦野球大会に参加して

岡山仏青 藤村憲龍

平成二十四年五月二十四日、群馬県前橋市にて第三十四回東日本仏青親睦野球大会が開催され、当仏青からは二名が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、兵庫・東海・北陸・九州西・岡山の連合チームで、優勝を目標に出場しました。

各試合熱戦の続く中、我がチームは三連勝で順調に予選を突破し、準決勝で地元群馬と対戦し、試合は接戦の末ジャンケン対決となり、惜しくも四対五で敗れ、悔しい結果となりました。

試合後、ホテルへ移動し懇親会が行われ、より多くの会員の方々と交流出来、有意義で素晴らしい一日となりました。

茨城仏青 榎戸俊道

恒例の東日本仏青親睦野球大会が群馬県前橋市にて昨年五月二十四日に開催されました。私共茨城仏青も二十一名が参加し、新入会員を加え、レギュラーメンバーも新たになったチームで大会に臨みました。大会では、予選リーグ、準決勝と順調に勝ち上がり、決勝戦へと進むことが出来ました。決勝戦では、群馬チームとの対戦となり、惜しくも、群馬チームの強力打線の前に屈する事となりましたが、準優勝という素晴らしい成績を残すことが出来ました。夜には懇親会も開催され、他仏青との親睦を大いに深める事が出来た素晴らしい大会となりました。



天台宗 宗務 阿部 純孝 <small>天台宗宗務総長</small> <small>総務部長</small> 杜多 道雄 <small>法人部長</small> 山田 亮清 <small>財務部長</small> 阿部 昌宏 <small>教学部長</small> 齊藤 圓眞 <small>社会部長</small> 村上 圓竜 <small>一隅を照らす運動総本部長</small> 福恵 善高		天台仏教青年連盟 協賛金協力者ご芳名 (敬称略) 皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます	
宗議会議員 (寺籍簿順) 九州西教区 長壽寺 角本 尚雄	近畿教区 本山寺 百濟 寂仁	岡山教区 明王院 吉山 亮公	四国教区 行泉寺 柞原 俊孝
東海教区 甲山寺 可児 光永	北陸教区 薬王寺 青木 大瑩	信越教区 光前寺 吉澤 道人	信越教区 光前寺 吉澤 道人
東京教区 大圓寺 寺本 亮洞	埼玉教区 泉福寺 清水 英雄	群馬教区 妙見寺 小川 晃豊	栃木教区 光樹院 柴田 立史
栃木教区 圓林寺 柳澤 最伸	福島教区 金礼寺 林 光俊	陸奥教区 観音寺 鮎貝 宗城	滋賀教区 長壽寺 長山 慈信 教区宗務所長 (寺籍簿順)

全国大会神奈川結集のご案内

平成25年9月11日～12日 横浜市

平成25年度の天台仏教青年連盟主催による全国大会結集は、神奈川仏教が担当して横浜市において開催いたします。日程は、平成25年9月11～12日の1泊2日にて、会場はパンパシフィック横浜ベイホテル東急(平成25年4月より横浜ベイホテル東急として名称が変更)を予定しておりますが、現段階においてテーマや講師、移動研修など詳細の内容は未定となります。

目的については、「釈尊ならびに祖師先徳の御教えを体し自らを研鑽し、親睦を深め、さらに仏法を社会に広めること」として、さらには、祖師先徳鑽仰大法会期間中にあたり、慈覚大師の1150年御遠忌のご勝縁年の開催を考慮して、メインテーマなど2日間の研修を考案していきたいと存じます。確定しました内容は、出来るだけ早く各教区仏青様へ御通知できよう務めてまいります。

また、当会はお陰様をもちまして、平成25年度に創立40周年を迎えます。その記念事業の一環として開催させていただければと考えておりますので、格段のご理解と共に大勢のご出席を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

〈神奈川天台仏教青年会副会長 溝江光宣〉

第35回 東日本仏青親睦野球 北総大会のお知らせ

【大会日程】
平成25年5月8日(水)～9日(木・友引)
・8日/懇親会 ・9日/野球大会

【大会会場】
美浜ふれあい広場 2面
(千葉市美浜区磯部8-24-1)

稲毛海浜公園 2面
(千葉市美浜区高浜7-1-3)

【懇親宿泊会場】
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
(旧幕張プリンスホテル)
(千葉市美浜区ひび野2-3)

★北総仏青では今回の親睦野球大会を通して、天台宗僧侶としての自覚と団結の強化、また教区の枠を超えた交流を深めていただきたく、北総大会を企画させていただきました。北総仏青一同、多くの方のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ】北総仏教青年会

天台仏青連盟ホームページのお知らせ

<http://www.t-y-b-a.com/>

天台仏青連盟のホームページは、日々進化を遂げております。今年度は、写真の多用による読みやすさの追求、仏教に関するQ&Aの掲載、そして各教区の仏青活動の一般公開にむけての準備等を進めております。

情報通信委員会としましては今後、仏青会員の皆さまはもとより、一般の方に向けての発信力もどんどん高めて参りたいと考えております。

当ホームページが会員各位にとって、使える身近なツールとなりますよう、ご協力をお願い申し上げます。
(情報通信委員会)



平成24年度天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

- 茨城県竜巻災害…………… 合計 160,000円
 - 栃木県竜巻災害…………… 合計 120,000円
 - 九州北部豪雨災害(熊本県)
…………… 合計 113,902円
 - 九州北部豪雨災害(福岡県)
…………… 合計 113,802円
 - 九州北部豪雨災害(大分県)
…………… 合計 113,802円
 - 連盟地球救援金…………… 合計 613,137円
- 合計…………… 1,234,643円

ご協力いただきました各仏青様に感謝いたします。
今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。
(救援委員会)

※上記の支援金・募金は平成25年1月末日現在です。

茨城教区 萬福寺 熊岡明然	南総教区 笠森寺 小川長宏	東京教区 養玉院 遠賀庸達	東京教区 観音寺 本多賢真	東京教区 養寿院 赤沼廣海
京都教区 56 信越教区 32 地蔵寺 常樂寺	栃木教区 城興寺 福武安文	栃木教区 照尊院 菅原道信	茨城教区 佛性寺 山田純永	茨城教区 福性院 寺門俊明
担当役員 担当役員	委員 委員長 副委員 副委員長	天台仏教青年連盟 代表 高聖法 副代表 佐藤正 事務局長 井藤純 事務局次長 光榮大 事務局次長 横山晃 事務局次長 鈴木大 事務局次長 長木和 会計監査 溝江宗 会計監査 山形光	埼玉教区 8 茨城教区 82 陸奥教区 14 陸奥教区 39	埼玉教区 福正寺 陸奥教区 満福寺 陸奥教区 泉寺 陸奥教区 寺院

誤記等ございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。
平成25年1月末日現在、ご協賛頂きました方を掲載しております。

華頂庵
寺院荘厳具・京仏壇・京仏具・法衣・袈裟・打敷

株式会社 安藤

本社 (〒605-0081) 京都市東山区古門前通花見小路東入ル
0120-29-8161 (法衣部)
0120-29-8165 (仏具部)
0120-19-8168 (贈答品部)

東京店 (〒105-0014) 東京都港区芝2丁目15番2
0120-3232-09

福岡店 (〒812-0036) 福岡市博多区上呉服町12-7
0120-2143-22

沈香 白檀 各種焼香 本舗
法要・行事等 記念品「香」受け賜ります

総本山 延暦寺御用達

風間薫芳堂

〒607-8454
京都市山科区厨子奥苗代元町21-8
電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760

天台宗務庁御特命
三諦章袈裟専織所

森忠法衣店

五代目 森 忠兵衛

〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203番
FAX 075-255-7020番

東海教区 成願寺 中村廣文	三岐教区 常住寺 森喜良	岡山教区 千光寺 葉上観行	兵庫教区 長光寺 雲井明善	近畿教区 松尾寺 高岡保博
南総教区 妙音寺 浅野玄航	東京教区 法蔵院 杜多徳雄	神奈川教区 妙樂寺 溝江光運	信越教区 仲仙寺 師田香雪	北陸教区 帆山寺 天谷良永
福島教区 観音寺 矢島義謙	栃木教区 月藏寺 齋藤宏明	茨城教区 圓滿寺 酒井貫全	群馬教区 西光寺 谷晃昭	埼玉教区 福正寺 木本清玄
岡山教区 恵門院 森田亮英	近畿教区 慈光寺 河野慈元	滋賀教区 金剛輪寺 濱中光礼	宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方	陸奥教区 満福寺 千葉亮賢
東京教区 延命寺 宮崎光通	神奈川教区 観音寺 中村顕道	九州西教区 宝満山妙香庵 森妙香	九州東教区 臨濟寺 秦順照	九州東教区 霊仙寺 青山良安

結集研修委員会

委員長(九州西) 一番ヶ瀬順海



— 担当 —
本山・九州西・岡山
東京・埼玉・陸奥

結集研修委員会では、結集の開催地区の選定や開催に至るまでの様々な準備のお手伝いを行っております。また、中央研修会のテーマや内容を企画検討しており、天台宗務庁との連携を図りながらいかに全国の仏青の皆様に興味を示して頂けるか協議しています。

今年度の結集にしましては、東日本大震災の被災地である仙台での開催を陸奥地区仏青の大きなご尽力によつて実現し、また二百名を超える多くの参加者によつて円成することができました。この場をもちましてご参加頂きました全国仏青の皆様並びにご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。合わせまして、来年度は仏青創立四十周年を迎える神奈川教区での開催となりますので多くの皆様のご参加を願います。

救援委員会

委員長(兵庫) 小泉 即圓



— 担当 —
京都・近畿・兵庫・信越
南総・栃木・福島・北海道

自然災害から逃れることはなかなか出来ません。その中で、いかにして自然と共存し、共生していかねばならない私たち。地球温暖化の影響なのか、竜巻・台風・ゲリラ豪雨・例年にも増して自然災害の多い一年でありました。

今年度の救援委員会の取り組みとして特に、自然災害が起こった場合、迅速な情報収集をするために仏青二十六教区を六ブロックに分けて議員メールでその情報を得、その中で我々が今、出来ることは何かを考え行動(現地で救援活動・支援物資を送る・義援金の送付等)してまいりました。

また、各仏青に救援募金をお願いしましたところ、快くご協力いただきました事、感謝申し上げます。我々青年僧侶の持味は、行動力だと思えます。その行動力を活かして今後も活動をおこなってまいりたいと思えます。今後ともご協力をお願い致します。

天台仏教青年連盟の九百数名会員の心はひとつ。「みんなの幸せ！」

情報通信委員会

委員長(神奈川) 本間 孝継



— 担当 —
滋賀・山陰・四国
神奈川・北総・山形

昨年度名称を変更した「情報通信委員会」は、今年度も引き続き進化を遂げております。

HPはさらなるリニューアルをし、写真を多用してより見やすくなりました。内容的にも、各仏教青年会のご協力のもと仏教に関するQ&Aの掲載、及び各教区仏青独自の頒布品のご紹介等、いつもの充実を図っております。

いままでもなく昨年来、引き続き全国の仏青会員による東日本大震災の復興・支援活動報告も継続しています。

多くの人が瞬時に同じ情報を共有できるネットの強みを活かせるよう、HPの周知を徹底し、更なる発信力の強化に努めて参りたいと考えております。仏青会員各位には、HP閲覧を是非日課にしていただくとともに、さらなる発展のために、ご意見、ご要望等ございましたら、お寄せくださいますようお願い申し上げます。

布教広報委員会

委員長(三岐) 久保寺福美



— 担当 —
九州東・三岐・東海
北陸・群馬・茨城

昨年も本紙「天台佛青連」の作成に際しまして原稿執筆等でご協力をいただき、お蔭をもちまして無事発行する事が出来ました。

本号では皆様よりお寄せ頂いたご意見を元に委員会にて検討し、ページの上半分を主催者からの報告、下半分を参加者の感想といった形でよりきめ細やかな情報を提供出来るように心掛けました。中央研修会では天台宗務庁社会部をはじめ、奈良千僧法要では全日仏青理事長村山博雅師からもご協力いただき原稿をお寄せ頂きました。

一期二年のあつという間でしたが皆様のお陰をもちまして無事責任を全うする事が出来、誠にありがとうございました。来期からは臨時号の発行も予定されており、これまで以上に委員会活動が活発になるかと思えます。

今後とも皆様方のより一層のご意見ご協力の程、心よりお願い申し上げます。

編集後記

今号の会報「天台佛青連」は、昨年九月に行なわれた「祖師先德鑽仰大法会 慈覚大師御影供法要」特集記事に掲載させて頂きました。慈覚大師が開山した、みちのくの古刹立石寺を会場に、百五十名を超える全国からの青年僧が一同に会してお唱えさせて頂いた讃の調べを感じて頂いたなら幸いです。

他にも連盟合同ポラントイアや、陸奥結集、千僧法要など、天台仏青連盟が主催、協力した各種行事をわかりやすく掲載するよう努めました。

今号発行に際してご執筆、ご協力頂きました皆様にお礼申し上げます。

今後ともより良い紙面作成の為、皆様方の御意見、ご協力の程宜しくお願い致します。

布教広報委員一同